

合理的配慮の提供に 悩んでいませんか？



Reasonable Accommodation

令和4年12月26日 14:00～16:30

研修プログラム

第1部 講義

インクルーシブ教育システムの構築と
合理的配慮の提供について

講師

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
上席総括研究員(兼)センター長

久保山 茂樹 先生

第2部 演習

①インクルDBの活用方法について
講師

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
主任研究員

土屋 忠之 先生

②Jamboardを活用しての事例検討

山梨県教育庁 特別支援教育・児童生徒支援課
特別支援教育担当指導主事

第1部 講義

インクルーシブ教育システムの構築と 合理的配慮の提供について

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
上席総括研究員(兼)センター長

久保山 茂樹 先生

第2部 演習

①インクルDBの活用方法について

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
主任研究員

土屋 忠之 先生

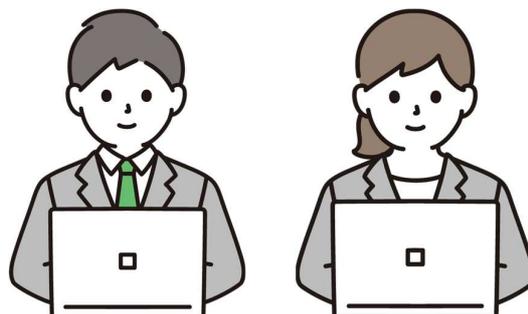
②Jamboardを活用しての事例検討



山梨県教育庁 特別支援教育・児童生徒支援課

Board of Education Secretariat Office for Special Needs Education and Student Support Division

・インクルDBを使ってみよう



【例】コウジさんの合理的配慮を考えてみよう

コウジさん(小学3年生)



7

【例】コウジさんの合理的配慮を考えてみよう

<家庭や学校における状況>

○健康

- ・自閉症スペクトラム障害 ADHD

○心理(情緒)

- ・役割があると熱心に取り組む。
- ・虫や小動物が好き。

○認知(学習)

- ・学習内容の習得が早い。
- ・物事を早合点してミスすることが多い。

○身体の動き

○対人関係 コミュニケーション

- ・虫などを突然友達の目の前につきつけてしまう。
- ・自分の考えを一方向的に話してしまうことがある。

○その他

<考えられる合理的配慮>

検索キーワード

「早合点」「コミュニケーション」

実践事例データベース(インクルDB)

http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=15



【例】コウジさんの合理的配慮を考えてみよう

<家庭や学校における状況>

○健康

- ・自閉症スペクトラム障害 ADHD

○心理（情緒）

- ・役割があると熱心に取り組む。
- ・虫や小動物が好き。

○認知（学習）

- ・学習内容の習得が早い。
- ・物事を早合点してミスすることが多い。

○身体の動き

○対人関係 コミュニケーション

- ・虫などを突然友達の前につきつけてしまう。
- ・自分の考えを一方向的に話してしまうことがある。

○その他

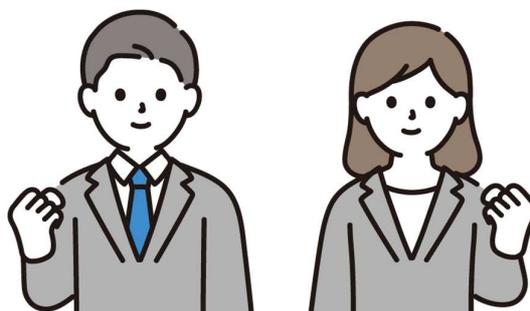
<考えられる合理的配慮>

- ・日課や学習内容に見通しが持てるように、わかりやすい日課表や手順表などを工夫する。
- ・板書でノートに書き写す部分を視覚的に示し、書く分量を調節する。
- ・タブレット端末のカメラ機能を使い、板書を写すようにする。
- ・質問や指示をゆっくり繰り返して伝えるようにする。
- ・問題のポイントになる点をマーカー等で示す。
- ・SSTで表情カードを用いて相手の気持ちを考える機会を設定する。

インクルDBファイル名：R01 0053PC4-Au を参考に作成

山梨県教育委員会主催 令和4年度 特別支援教育に係る基礎講座

・みんなで合理的配慮を考えてみよう



【小学校】ヒロシさんの合理的配慮を考えてみよう

ヒロシさん(小学4年生)

自閉症スペクトラム障害
の診断あり

自閉症・情緒障害
特別支援学級在籍

新しい活動や人に対して
不安と緊張が強い



予定の変更や
見通しが持てない活動に
対して抵抗が強い。

音楽・図工・特別活動は
交流学級で授業を行う。

特定の友達に自分から
話しかける場面が増えてきた。

集団活動に参加することに
苦手さはあるが、交流学級
の友達と学習したい思いが
強くなってきている。

11

【小学校】ヒロシさんの合理的配慮を考えてみよう

<家庭や学校における状況>

○健康

- ・自閉症スペクトラム障害

○心理(情緒)

- ・新しい活動や人に対して不安と緊張が強い
- ・予定の変更や見通しが持てない活動に対して抵抗が強い。

○認知(学習)

- ・音楽・図工・特別活動は交流学級で授業を行う。

○身体の動き

○対人関係 コミュニケーション

- ・特定の友達に自分から話しかける場面が増えてきた。

○その他

- ・集団活動に参加することに苦手さはあるが、交流学級の友達と学習したい思いが強くなってきている。

<考えられる合理的配慮>

【中学校】サヤさんの合理的配慮を考えてみよう

サヤさん(中学2年生)

自閉症スペクトラム障害と
LDの診断あり

学習や友達との会話に
自信が持てず、
学校を休みがち

語彙数が少なく、思考したり
概念化したりする推論に
困難さがある。



話し合いの際、
話の流れが理解できず、
話し合いにできない。

人が多い空間が苦手

部活動は集団の中で
活動できるが、集中しすぎて
次の行動に移ることが苦手

通級による指導を受けている。

13

【中学校】サヤさんの合理的配慮を考えてみよう

<家庭や学校における状況>

○健康

- ・自閉症スペクトラム障害 LD

○心理(情緒)

- ・学習や友達との会話に自信が持てず、学校を休みがち
- ・人が多い空間が苦手
- ・部活動は集団の中で活動できるが、集中しすぎて次の行動に移ることが苦手

○認知(学習)

- ・語彙数が少なく、思考したり概念化したりする推論に困難さがある。

○身体の動き

○対人関係 コミュニケーション

- ・話し合いの際、話の流れが理解できず、話し合いに参加できない。

○その他

<考えられる合理的配慮>

【高等学校】ダイスケさんの合理的配慮を考えてみよう

ダイスケさん（高校2年生）



15

【高等学校】ダイスケさんの合理的配慮を考えてみよう

<家庭や学校における状況>

○健康

- ・自閉症スペクトラム障害 ADHD

○心理（情緒）

○認知（学習）

- ・漢字の読み書きに困難
- ・視覚より聴覚による認識の方が優位
- ・座学の授業では理解しにくく、ぼんやりしていることが多い。

○身体の動き

- ・体育の授業は得意

○対人関係 コミュニケーション

- ・友達が多い

○その他

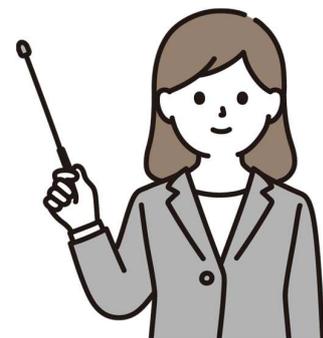
- ・飲食店でアルバイトをしており、今後も続けたいと考えている。
- ・中学校では特別支援学級に在籍していた。

<考えられる合理的配慮>

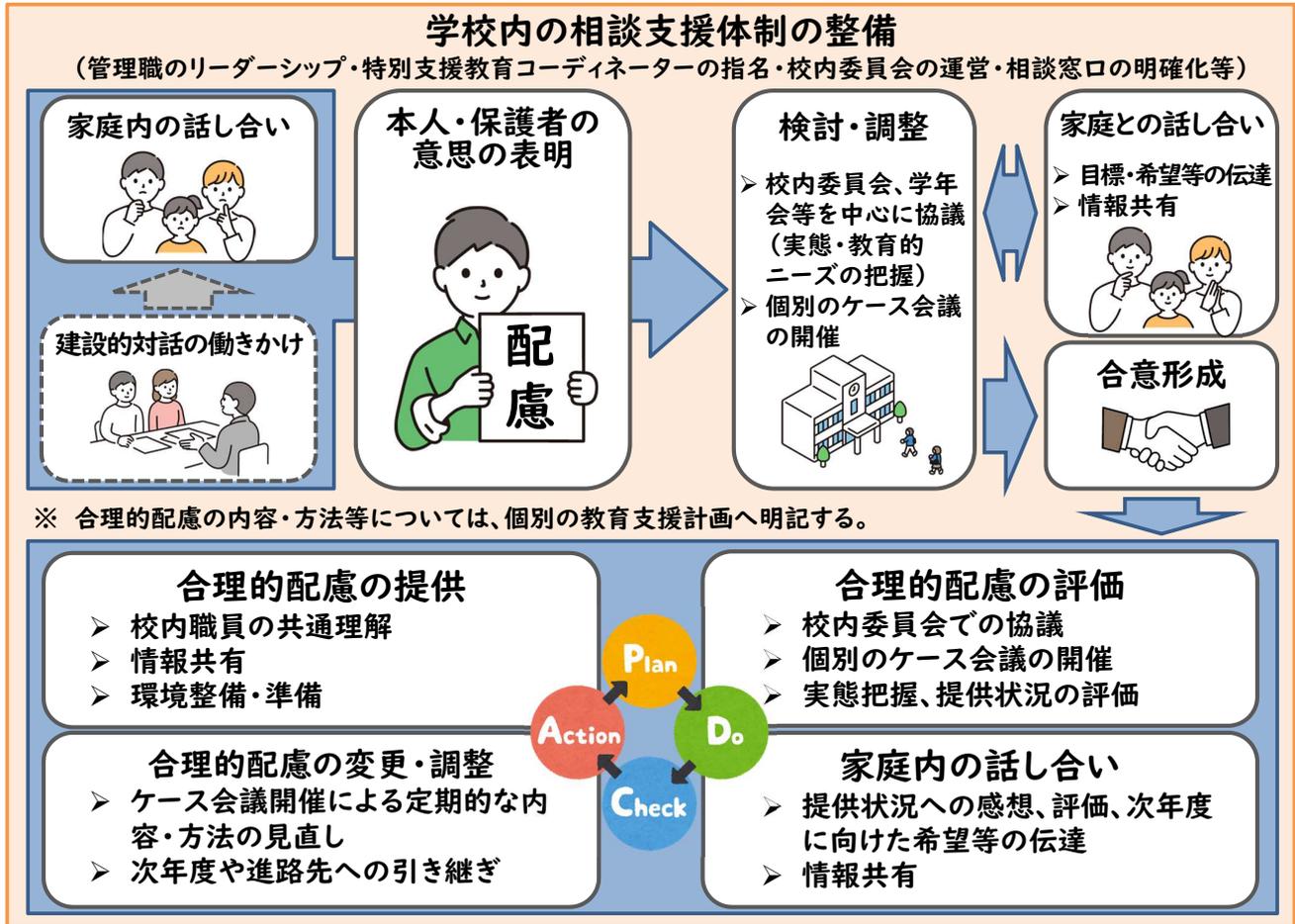
・グループ発表



合理的配慮の提供のプロセス



各学校における合理的配慮の提供のプロセス（例）



山梨県教育委員会主催 令和4年度 特別支援教育に係る基礎講座

個別の教育支援計画及び 個別の指導計画との関連



個別の教育支援計画書①

本人氏名(フリガナ)		学年	園・学校名	作成年月日
ヤマナシ コウジ		3年	名称：〇〇小学校 住所：〇〇市〇〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号：055-223-XXXX	令和4年 9月 1日
山梨 コウジ				作成者氏名
				保護者等 山梨 花子 担任 〇〇 〇〇
本人・保護者等の 願い		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習や生活ができるようになってほしい。 ・友達と適切な関わりができるようになってほしい。 		
支援目標	長期	<ul style="list-style-type: none"> ・日課に合わせて行動できるように支援する。 ・相手の気持ちを考え、適切に友達と交流することができるように支援する。 		
	短期	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にわかりやすい日課表を使って見通しを持てるよう支援する。 ・友達の表情から気持ちを考えることができるよう支援する。 		
(「つらね」支援計画) 支援目標(長期) 支援目標(短期)	支援 事項	ASD ADHD	(職業の状況) コンサーター	(支援目標)
	支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・役割があると熱心に取り組む。 ・虫や小動物が好き ・日課や活動に見通しが持てると、安心して参加できる。 		
	支援 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の習得が早い。 ・物事を早合点してミスすることが多い。 ・ノート半ページ程度板書を写すことができる。 		
	支援 手段			
	支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・虫などを突然友達の前目突き付けてしまうことがある。 ・自分の考えを一方向的に話してしまうことがある。 		
評価				
※評価は支援目標(短期)の評価とするが、支援目標(長期)の見直しが必要となった場合には、その理由も記入する。				

個別の教育支援計画書①

本人氏名(フリガナ)		学年	園・学校名	作成年月日
ヤマナシ コウジ		3年	名称：〇〇小学校 住所：〇〇市〇〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号：055-223-XXXX	令和4年 9月 1日
山梨 コウジ				作成者氏名
				保護者等 山梨 花子 担任 〇〇 〇〇
本人・保護者等の 願い		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習や生活ができるようになってほしい。 ・友達と適切な関わりができるようになってほしい。 		
支援目標	長期	<ul style="list-style-type: none"> ・日課に合わせて行動できるように支援する。 ・相手の気持ちを考え、適切に友達と交流することができるように支援する。 		
	短期	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にわかりやすい日課表を使って見通しを持てるよう支援する。 ・友達の表情から気持ちを考えることができるよう支援する。 		
(「つらね」支援計画) 支援目標(長期) 支援目標(短期)	支援 事項	ASD ADHD	(職業の状況) コンサーター	(支援目標)
	支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・役割があると熱心に取り組む。 ・虫や小動物が好き ・日課や活動に見通しが持てると、安心して参加できる。 		
	支援 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の習得が早い。 ・物事を早合点してミスすることが多い。 ・ノート半ページ程度板書を写すことができる。 		
	支援 手段			
	支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・虫などを突然友達の前目突き付けてしまうことがある。 ・自分の考えを一方向的に話してしまうことがある。 		
評価		<ul style="list-style-type: none"> ・日課や学習内容に見通しがもてるように、わかりやすい日課表や手帳表など工夫する。 ・板書でノートに書き写す部分を視覚的に示し、書く分量を調節する。 ・タブレット端末のカメラ機能を使い、板書を写すようにする。 ・質問や指示をゆっくり繰り返して伝えるようにする。 ・問題のポイントになる点をマーカー等で示す。 ・表情カードを用いて相手の気持ちを考える機会を設定する。 		
※評価は支援目標(短期)の評価とするが、支援目標(長期)の見直しが必要となった場合には、その理由も記入する。				

〔指導計画〕

児童名 (山梨コウジ)

後 期 (令和4年 10月 ~ 3月)

記入日	令和4年 9月 7日	記入者	〇〇 〇〇	3年	〇組
指導目標	・本人にわかりやすい日課表を使って見直しを持てるよう支援する。 ・友達の表情から気持ちを考えることができるよう支援する。				
手立て	・日課や学習内容に見直しができるように、わかりやすい日課表や手順表など工夫する。 ・板書でノートに書き写す部分を視覚的に示し、書く分量を調節する。 ・タブレット端末のカメラ機能を使い、板書を写すようにする。 ・質問や指示をゆっくり繰り返して伝えるようにする。 ・問題のポイントになる点をマーカー等で示す。 ・表情カードを用いて相手の気持ちを考える機会を設定する。				
指導の 評価					

対人関係	相手の表情から気持ちを考える。				
その他					

	指導目標・内容	支援の方法	支援の形態	評価
学習面で	全 重要部分をノートに写す。			
	全 端末で板書を撮影する。			
	全 問題のポイント数に気付く。			
行動面	わかりやすい日課表や手順表など工夫する。			
行動面	質問や指示を的確に聞く。			
コミュニケーション				

記した手立ての具体的な指導内容を当てはまる項目に記入

〔指導計画〕

児童名 (山梨コウジ)

後 期 (令和4年 10月 ~ 3月)

記入日	令和4年 9月 7日	記入者	〇〇 〇〇	3年	〇組
指導目標	・本人にわかりやすい日課表を使って見直しを持てるよう支援する。 ・友達の表情から気持ちを考えることができるよう支援する。				
手立て	・日課や学習内容に見直しができるように、わかりやすい日課表や手順表など工夫する。 ・板書でノートに書き写す部分を視覚的に示し、書く分量を調節する。 ・タブレット端末のカメラ機能を使い、板書を写すようにする。 ・質問や指示をゆっくり繰り返して伝えるようにする。 ・問題のポイントになる点をマーカー等で示す。 ・表情カードを用いて相手の気持ちを考える機会を設定する。				
指導の 評価					

コミュニケーション					
対人関係	相手の表情から気持ちを考える。	道徳や学活で表情カードを用いて相手の気持ちを考える。			
その他					

	指導目標・内容	支援の方法	支援の形態	評価
学習面で	全 重要部分をノートに写す。	重要部分を色マーカーで囲む。		
	全 端末で板書を撮影する。	授業の最後に板書を撮影させる。		
	全 問題のポイント数に気付く。	ポイントをマーカー等で示す。		
行動面	わかりやすい日課表や手順表など工夫する。	毎朝時間割と学習内容を記入した日課表を示す。 見学時はタイムスケジュールを事前に示す。		
行動面	質問や指示を的確に聞く。	質問や指示をゆっくり繰り返して伝える。		
コミュニケーション				

具体的な支援方法を記入

4年時（進級後）

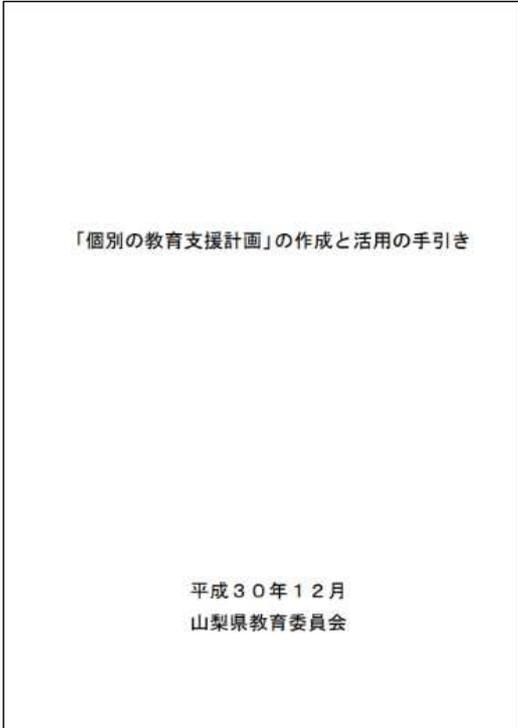
本人氏名（フリガナ）		学年	園・学校名	作成年月日
ヤマナシ コウジ		4年	名称：〇〇小学校 住所：〇〇市〇〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号：055-223-X XXX	令和5年 4月 10日 作成者氏名 保護者等 山梨 花子 担任 〇〇 〇〇
本人・保護者等の 願い		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習や生活ができるようになってほしい。 ・友達と適切な関わりができるようになってほしい。 		
-補正項目-	長期	<ul style="list-style-type: none"> ・日課に合わせて行動できるように支援する。 ・相手の気持ちを考え、適切に友達と交流することができるように支援する。 		
	短期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で日課表を作り、見直しを持って行動できるように支援する。 ・友達の表情から気持ちを考え、その場に適した関わり方について支援する。 		
-個別支援計画-	ASD ADHD	（服薬の状況） コンサータ	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝一日の流れがわかる日課表を担当と一緒に作って確認し、少しずつ自分でスケジュール管理できるようにしていく。 ・板書でノートに書き写す部分を視覚的に示し、書く分量を調節する。 ・タブレット端末のカメラ機能を使い、板書を書き写すようにする。 ・質問や指示をゆっくり繰り返して伝えるようにする。 ・問題のポイントになる点をマーカー等で示す。 ・表情カードを用いて相手の気持ちを考え、その場に適した関わり方をロールプレイで学ぶ機会を作る。 	
	（発達） 関心	<ul style="list-style-type: none"> ・役割があると熱心に取り組む。 ・虫や小動物が好き。 ・日課表や手帳表で見直しがあると、安心して参加できる。 		
	（学習） 言語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の習得が早い。 ・物事を早合点してミスすることが多い。 ・ノート半ページ程度板書を写すことができる。 		
	（生活） 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・虫などを突然友達の前へ突き付けしてしまうことがある。 ・自分の考えを一方向的に話してしまうことがある。 		

前年度の評価を反映させた目標に変更する。

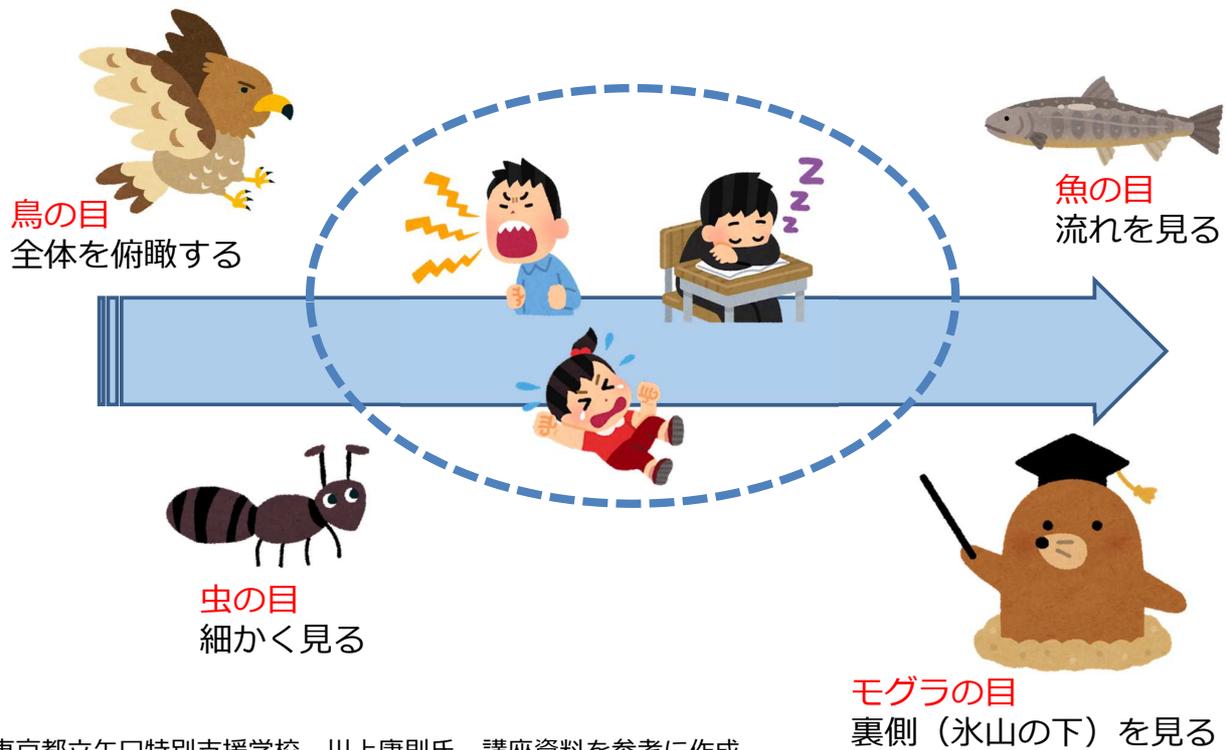
新たに設定した目標に合わせて合理的配慮を再検討する

PDCAサイクルで毎年内容をアップデートしていくことが大事！

山梨県個別の教育支援計画 作成と活用の手引き



4つの目で物事を見る習慣をつくる

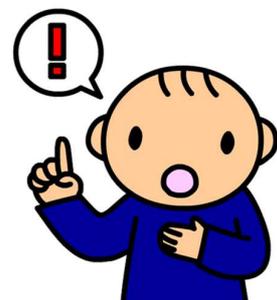


大事にしたいこと

その子にとって本当に必要な支援は何かを
考えること

周りの人がしてあげたいことをするよりも、
その子が一番必要としていることをする

一人ひとりに応じた教育



大事にしたいこと

これまでの子どもを理解する方法や、
指導の方法を振り返ること

今まで繰り返してきた子どもへの接し方が、
その子に本当に必要なことかどうか、
もう一度考えてみましょう

「当たり前」への問い返し

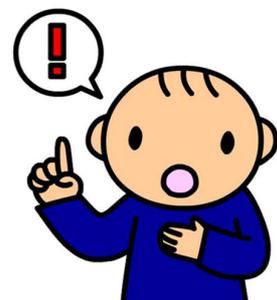


大事にしたいこと

良いところを手がかりに、できることから始めて、
成果を積み上げていくこと

子どもの良いところ、得意なことに注目。
周りの人も子どもも、
できそうなことから始めましょう

プラス思考の対応



大事にしたいこと

共通認識・共通理解の下、
みんなで支援にあたること

家族や学校、子どもに関わる様々な立場の人が
それぞれの良さをいかして役割を分担、
情報交換をしましょう

連携や協働



今までの「見方」を変えて
その子の「味方」になること

そのことを「仲間」と共に進めること
私たちも、子どもたちも

